MARVELIC EXCELLENT

施術マニュアル

20210929更新

ヘアカラー　パーマ　デジタルパーマ　ストレートパーマ　トリートメント　ブリーチ　デトックス

EX1 EX2 EX3 EX7 希釈して塗布します

EX1 :水＝1:3(4倍希釈液)

EX2 :水＝1:3(4倍希釈液)

EX3 :水＝1:7(8倍希釈液)

EX7 :水＝1:7(8倍希釈液)

※ダメージレベルや髪質によって原液を使用すると効果がアップします。

EX1 を原液で使用⇒薬剤の働きを促進します。

EX2 を原液で使用⇒ダメージの補修効果をアップします。

EX3 を原液で使用⇒残留アルカリを強力に除去します。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合は乳化の時や中間処理で EX2 を6～8倍希釈で使用します。

軟毛の場合は乳化の時や中間処理で EX2 を原液～2倍希釈で使用します。

◆塗布量

●前処理・中間処理・乳化の時の塗布量

必要な部分に垂れない程度の量を塗布します。

塗布量はフォーマーボトルで5～20プッシュ(3.5～14mL)が目安です。

フォーム状にしてカップに取ってブラシやコームなどで塗布します。

または液体のままアプリケーターやスプレーで塗布します。

●後処理の時の塗布量

過酸化水素やアルカリを除去するため十分な量を塗布します。

MPLEX1 EX4 カラー剤やパーマ剤などに添加します

MPLEX1 はカラー剤やブリーチ剤に5～10%添加します。

EX4 はチオ系の1剤に10～20%添加します。

1N 1H 2B デザイントリートメント(パーマ剤)　※化粧品分類のカーリング料

1N (1剤)はローションタイプ(ノーマル)です。カールとストレート兼用です。

1H (1剤)はクリームタイプ(ハード)です。ストレート専用です。

2B (2剤)はローションタイプ(プロム酸)です。カールとストレート兼用です。

うねりがとれるヘアカラー うねりをとる工程

1

●プレシャンプー

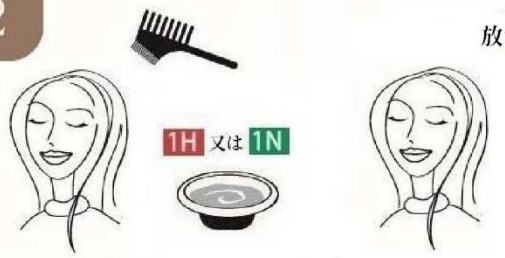
お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに優しくシャンプーします。

● 1H 又は 1N を選択

ダメージレベルや髪質に応じて 1H 又は 1N を選択します。
新生毛～ミドルダメージ毛は 1H
ハイダメージ毛は 1N

※チオ系の場合は EX4 を10～20%添加します。

2



● 1剤塗布

1H 又は 1N を塗布します。
根元・中間・毛先と時間差を設けて塗布しラップします。

● 放置

放置時間は10~15分が目安です。
軟化しない場合は 1H を再塗布し放置又は加温します。

●軟化チェック

●中間水洗

3

●中間処理　髪質改善

タオルドライの後、EX2 と EX7 を全頭に塗布します。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合は EX2 を6～8倍希釈で使用します。
軟毛の場合は EX2 を原液～2倍希釈で使用します。

4

●ヘアアイロン

完全ドライの後、ヘアアイロンで整えます。
ヘアアイロンの温度は150℃以下を推奨します。

※ヘアアイロン用のオイルやローションはヘアカラーの酸化重合を妨げるので絶対に使用しないでください。

※ヘアアイロンの工程が終わったら続けてヘアカラーを施術します。

※カラー剤の２剤がストレートパーマの２剤を兼ねます。

工程 1 の前に前処理をおこなうと クオリティーが更にアップ!!

EX1 や EX2 で前処理をするとダメージ補修効果とデザイン性が更にアップします。

◆施術例

クセが取れにくい部分に EX1(原液) を塗布し5分加温すると
ダメージレスでクセが取れやすくなります。
ハイダメージ部分に EX2(原液) を塗布しハーフドライすると
ダメージ補修効果がアップします。

動画マニュアルをご参照ください。

ヘアカラー

1

●MPLEX1添加

カラー剤（1剤＋2剤）に対して MPLEX1 を5%添加します。

ハイダメージ毛の場合は10%添加します。

※専用ドロップポンプで添加する場合は、

カラー剤（1剤＋2剤）重量の1/10の回数を添加すると5%になります。

カラー剤（1剤＋2剤）100gの場合は10回プッシュ！

カラー剤（1剤＋2剤）60gの場合は6回プッシュ！

2

●カラー剤塗布・放置

カラー剤を塗布して放置します。

●カラーチェック

染まりが甘い部分があった場合は EX2 を塗布し揉みこむと

発色が促進されます。

3

●乳化　髪質改善

※シャンプーボウルにお湯を溜めないでください。

お湯ではなく EX2 · EX7 · EX3 で乳化します。

EX2 · EX7 · EX3 の順で全頭と頭皮に塗布し揉みこみます。

頭皮に揉みこむと頭皮に付いたカラー剤が簡単に取れます。

毛先がハイダメージの場合トーンダウンしやすいので EX2 塗布後すぐに

EX3 を塗布します。EX3 の後 EX7 を塗布します。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合は EX2 を6～8倍希釈で使用します。

軟毛の場合は EX2 を原液～2倍希釈で使用します。

●シャンプー

4

●後処理

タオルで余分な水分を取り EX7 を塗布し更に EX3 を塗布します。

EX7 と EX3 を洗い流さないでEXトリートメントを塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。

ハーフドライのあと、EXヘアエッセンスまたはEXモイスチャーミルクを

塗布して仕上げます。

工程 1 の前に前処理をおこなうと
クオリティーが更にアップ!!

EX1 や EX2 で前処理をするとダメージ補修効果とデザイン性が更にアップします。

◆施術例

中間・毛先に EX1 を塗布しハーフドライするときれいに発色します。

全頭に EX2 を塗布しハーフドライすると深くしっかり発色します。

乳化・後処理の工程は動画マニュアルをご参照ください。

ブリーチ

1

●ブリーチ剤に MPLEX1 添加
ブリーチ剤(1剤＋2剤)に対して MPLEX1 を5%添加します。

●ハイダメージ毛はライトナー添加
ブリーチ剤＋ライトナーに MPLEX1 を10%添加します。

2

●ブリーチ剤塗布
●放置
●チェック

3

●中間処理　ダメージレス
※シャンプーボウルにお湯を溜めないでください。
お湯ではなく EX2・EX7・EX3 で中間処理します。
EX2・EX7・EX3 の順で全頭と頭皮に塗布し揉みこみます。
EX2(原液)を塗布するとダメージの補修効果がアップします。

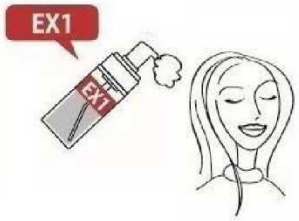
●シャンプー

4

●後処理
タオルで余分な水分を取り EX7 を塗布し更に EX3 を塗布します。
EX7 と EX3 を洗い流さないでEXトリートメントを塗布します。
チェンジリンスし軽く水洗します。
ハーフドライのあと、EXヘアエッセンスまたはEXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。
※ダブルカラーの場合はトリートメントやヘアエッセンスを塗布しないで水洗してください。

マニキュア

1



●プレシャンプー
お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに優しくシャンプーします。

●前処理
ハーフドライのあと EX1 を塗布します。
マニキュア剤が塗布しやすい程度にドライします。

2

●マニキュア剤塗布
●加温または放置
●チェック

3

●シャンプー
水洗の後、EXトリートメントを塗布します。
チェンジリンスし軽く水洗します。
ハーフドライのあと、EXヘアエッセンスまたはEXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。

パーマ

1

●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに優しくシャンプーします。

● 1N パーマ剤1剤を選択

1N パーマ剤1剤の塗布方法を選択します(水巻またはつけ巻き)。

※チオ系の場合は EX4 を10～20%添加します。

2

● パーマ剤1剤塗布

水巻またはつけ巻きで 1N を塗布します。

●ワインディング

ワインディングの後、根元に EX1 を塗布すると根元が立ち上がります。

● 1N パーマ剤1剤塗布

● 放置

放置します。（10分が目安）　軟化不足の場合は加温します。

●テストカール

●中間水洗

3

●中間処理　髪質改善

タオルで余分な水分を取り EX2 と EX7 を塗布します。

EX2 と EX7 を塗布後5～10分クリープするとしなやかでハリのある

パーマが再現できます。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合は EX2 を6～8倍希釈で使用します。

軟毛の場合は EX2 を原液～2倍希釈で使用します。

4

●デザイントリートメント塗布

EX3 を塗布します。

タオルで余分な水分を取り 2B を塗布します。

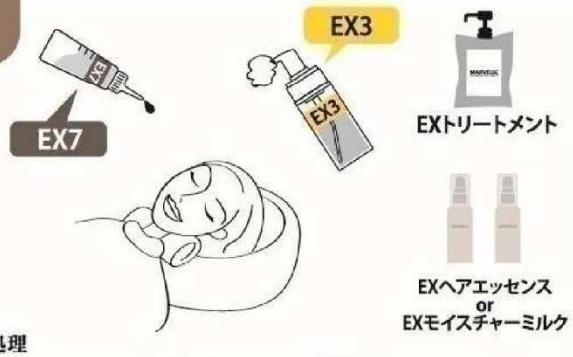
7分+7分放置

ロッドアウト

水洗

※2剤が過酸化水素の場合は EX3 を塗布しないでください。

5



●後処理

タオルで余分な水分を取り EX7 を塗布し更に EX3 を塗布します。

EX7 と EX3 を洗い流さないでEXトリートメントを塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。

ハーフドライのあと、EXヘアエッセンスまたはEXモイスチャーミルクを

塗布して仕上げます。

工程 1 の前に前処理をおこなうと クオリティーが更にアップ!!

EX1 や EX2 で前処理をするとダメージ補修効果とデザイン性が更にアップします。

◆施術例

ハイダメージ部分に EX2(原液) を塗布しハーフドライすると

ダメージ補修効果がアップします。

動画マニュアルをご参照ください。

ストレートパーマ

1

●プレシャンプー

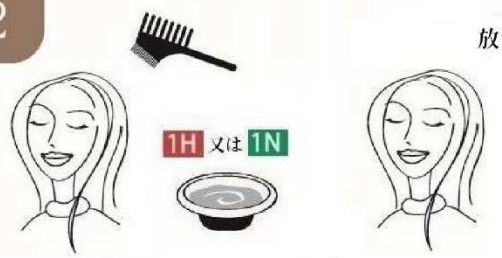
お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに優しくシャンプーします。

● 1H 又は 1N を選択

ダメージレベルや髪質に応じて 1H 又は 1N を選択します。
新生毛～ミドルダメージ毛は 1H
ハイダメージ毛は 1N

※チオ系の場合は EX4 を10～20%添加します。

2



● 1剤塗布

1H 又は 1N を塗布します。
根元・中間・毛先と時間差を設けて塗布しラップします。

● 放置

放置時間は10~15分が目安です。
軟化しない場合は 1H を再塗布し放置又は加温します。

●軟化チェック

●中間水洗

3

●中間処理　髪質改善

タオルドライの後、EX2 と EX7 を全頭に塗布します。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合は EX2 を6～8倍希釈で使用します。
軟毛の場合は EX2 を原液～2倍希釈で使用します。

4

●ヘアアイロン

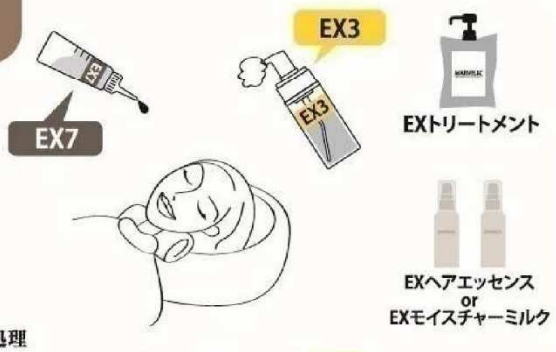
完全ドライの後、ヘアアイロンで整えます。
ヘアアイロンの温度は150℃以下を推奨します。
※ヘアアイロン用のオイルやローションは2剤(酸化剤)の働きを妨げるので絶対に使用しないでください。

●デザイントリートメント塗布

EX3 を塗布後余分な水分を取り 2B を塗布します。7分+7分放置　水洗

※2剤が過酸化水素の場合は EX3 を塗布しないでください。

5



●後処理

タオルで余分な水分を取り EX7 を塗布し更に EX3 を塗布します。
EX7 と EX3 を洗い流さないでEXトリートメントを塗布します。
チェンジリンスし軽く水洗します。ハーフドライのあと、
EXヘアエッセンスまたはEXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。

工程 1 の前に前処理をおこなうと クオリティーが更にアップ!!

EX1 や EX2 で前処理をするとダメージ補修効果とデザイン性が更にアップします。

◆施術例

クセが取れにくい部分に EX1(原液) を塗布し5分加温するとダメージレスでクセが取れやすくなります。

ハイダメージ部分に EX2(原液) を塗布しハーフドライするとダメージ補修効果がアップします。

※毛先が超ハイダメージの場合は 1N の代わりに EX1(原液) を塗布します。

動画マニュアルをご参照ください。

デジタルパーマ

1

●プレシャンプー

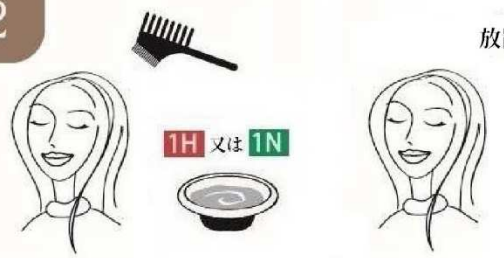
お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに優しくシャンプーします。

● 1H 又は 1N を選択

ダメージレベルや髪質に応じて 1H 又は 1N を選択します。
新生毛～ミドルダメージ毛は 1H
ハイダメージ毛は 1N

※チオ系の場合は EX4 を10～20%添加します。

2



● 1剤塗布

1H 又は 1N を塗布します。
根元・中間・毛先と時間差を設けて塗布しラップします。

● 放置

放置時間は10~15分が目安です。
軟化しない場合は 1H を再塗布し放置又は加温します。

●軟化チェック

●中間水洗

3

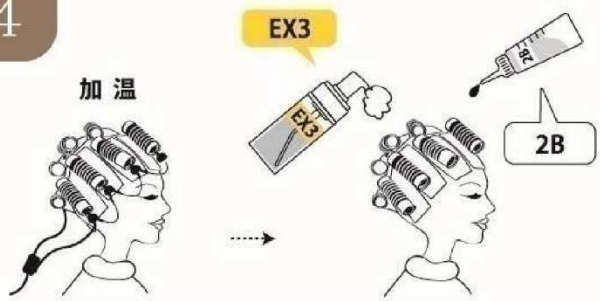
●中間処理　髪質改善

タオルドライの後、EX2 と EX7 を全頭に塗布します。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合は EX2 を6～8倍希釈で使用します。
軟毛の場合は EX2 を原液～2倍希釈で使用します。

4



●ワインディング

●通電 加温 通電終了

●デザイントリートメント塗布

EX3 を塗布後余分な水分を取り 2B を塗布してください。
7分+7分放置　ロッドアウト　水洗

※2剤が過酸化水素の場合は EX3 を塗布しないでください。

5

●後処理

タオルで余分な水分を取り EX7 を塗布し更に EX3 を塗布します。
EX7 と EX3 を洗い流さないで**EXトリートメント**を塗布します。
チェンジリンスし軽く水洗します。ハーフドライのあと、
EXヘアエッセンスまたは**EXモイスチャーミルク**を塗布して仕上げます。

工程 1 の前に前処理をおこなうと クオリティーが更にアップ!!

EX1 や EX2 で前処理をするとダメージ補修効果とデザイン性が更にアップします。

◆施術例

ハイダメージ部分に EX2(原液) を塗布しハーフドライすると
ダメージ補修効果がアップします。

リッジが出づらい部分に EX1(原液) を塗布して5分間加温すると
簡単にリッジが出るようになります。

トリートメント

1

●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに優しくシャンプーします。

●前処理

ハイダメージ部分に EX2(原液) を塗布します。

全頭に EX2 と EX7 を塗布します。

●加温後ハーフドライ

ラップして5分加温しハーフドライします。

※100℃以下のアイロンで加温もOK！

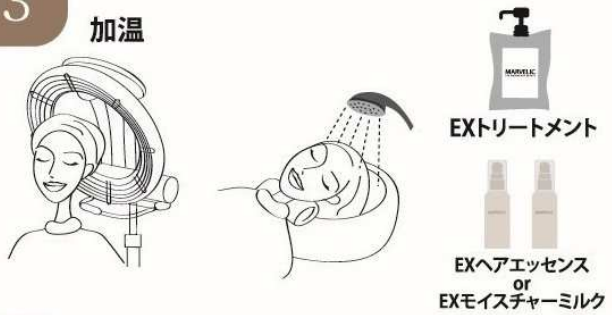
2

EXトリートメントに MPLEX1 と EX2(原液) と EX7(原液) を各5%添加します。

●トリートメント剤塗布

毛先などダメージ部分を中心に塗布します。

3



●加温

ラップして10 分間加温します。

●水洗

水洗の後、**EXトリートメント**を塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。

ハーフドライのあと、**EXヘアエッセンス**または

EXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。

デトックス

薬剤を毛髪や頭皮から完全に取り除くことで、「半永久的に退色しない」「リッジがダレない」を実現できます！

カラー剤やパーマ剤などの薬剤を水洗しタオルドライします。

EX2 と EX7 を全頭と頭皮に塗布し揉みこんだあと5分間放置します。

更に EX3 (4倍希釈液) を全頭と頭皮に塗布し揉みこんだあと5分放置します。

EX2 と EX7 と EX3 を**洗い流さない**でトリートメントを塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。

※フィニッシングでしっかり水洗しても過酸化水素やアルカリ剤が残留します。
残留した過酸化水素やアルカリ剤が退色やリッジのダレの原因になります。